

FANTIC

ファンティック・レーシング・ニュース

2024年10月1日

RACING

**ノルビン、ファンティック XEF310 で衝撃的デビュー。
スカルディーナは 125 クラスを支配。**



イタリアエンデューロ選手権第4戦、ファンティックのアルビン＝ノルビンは XEF310 でのデビューレースで見事なポテンシャルを発揮、総合で3位という好順位を獲得した。ケビン＝クリスティーノはジュニアクラスでのランキングトップを守るため、足のケガにもかかわらず英雄的な戦いを続け、ピエトロ＝スカルディーナは 125 クラスでの連勝でトップを維持することに成功した。

アルビン=ノルビンは新型・ファンティック XEF310 で素晴らしい戦いを展開。外国人クラスで土曜日の総合6位を獲得し、日曜日にはさらに攻めて総合3位に食い込む活躍を見せた。

ケビン=クリスティーノは J1 ワールドカップのチャンピオンを決めたばかりだが、怪我を負った状態にもかかわらず素晴らしい走りを披露し、ジュニアクラスを3-2位でまとめ上げた。シーズンは1戦を残す限りとなったが、クリスティーノは依然としてランキングトップを死守している。外国人クラスではジェド=エッチェルズが7-6位、また同じく XEF310 に乗るアレックス=セムは8-9位にレースをまとめた。

ファンティック・ジュニアレーシングチーム・エンデューロのピエトロ=スカルディーナは125ccクラスでのダブル・ウィンを決め、ランキングトップに。けがから復帰したバレンティーノ=コルシも5-5と奮戦した。

アルビン=ノルビン：素晴らしい週末だったね！このレースで XEF310 をデビューさせたんだけど、あっという間にマシンが体になじむのを感じたよ。日曜日には総合3位に入賞で来て初めて XEF310 を表彰台に乗せてやる事ができたし、もう言うことはないね。

ケビン=クリスティーノ：足の骨折の影響もまだまだ厳しくて、足に体重を乗せられないんだ。だからこのところは歩くことさえも控えていたんだよ。でも、レースでは新型 XE300 を使ってみることにした。ミナレリのエンジンは素晴らしく、走っていて楽しくて、様々なシーンでマシンに助けってもらえることも少なくなかったんだ。最終戦では全力を尽くしてジュニア・タイトルの獲得に向かいたいね。

ピエトロ=スカルディーナ：ダブル・ウィンもできて、125クラスのポイントリーダーにもなれて、このレースは最高だったね。最終戦のサンレモはミスが許されない厳しい戦いになるだろうけど、タイトル獲得に向けて全力で挑むよ。

